

<相良村／住民>

日 時：令和2年10月23日（金）10時00分～11時30分

会 場：相良村総合体育館研修センター

参加者：22名

【発言者①】

皆さん、おはようございます。

私は相良村の区長会の〇〇と申します。よろしくお願ひいたします。

今回の豪雨災害について意見を申し上げます。村の中心を流れております川辺川は私たちが子どもの頃から見ております日本一の清流と言われる川であります。

今回のような大水害は初めてのような経験です。もちろん私が中学校3年の頃、昭和40年の大水害も見ました。57年の水害も見ました。

今回はもう本当にビックリするぐらいの大雨でございまして、大洪水でございました。どこが変わっているかといいますと、今から申し述べますが、特に水田における越流水の強いこと、道路や水田の側溝など、二次製品が壊れたものや大きな石などが水田の中に散乱しております。

あるいはそのために表土は流出して、山から流れてきたものでしょうか、流木の大きなやつが家屋や橋にひっかかったことを見ております。床下には溜まったヘドロが、前の40年で経験したようなヘドロじゃなかったです、今回は。すごいヘドロが溜まってました。これはどういうことかなと考えましたところ、やはり山の管理がより近代的になって、道路なんかがたくさん作られてきて、泥水とともに、ご覧のようにまだ水がなんか濁ったような感じが見られます。この水によって清流の鮎を、今頃はもう鮎掛けの人がいっぱいいるんですけども、ほとんど見られません。鮎が取れないという話も聞いております。このヘドロの多いことにはビックリいたしました。このことから上流の小河川の流出など、砂防、堤防、堰堤あたりで整備していただきたい。

それと川底の削減ですね。永江地区は今回の水害によって、上園のほうから雨宮神社のほうを見れば、川底があんまり変わらない高さぐらいまで上がってきているような気がします。少しでもそういった川底を整備していただきたい。

それから堤防の整備です。特に今回の水田における堤防からの水は、上から越流して来ている。ものすごい勢いで来てるために、水田にも瓦礫や石がたくさん溜まっていて、あれを見たときに、「うわあ、もう、田んぼは作りきんなはつたろうか」と、私は農業ではありませんけれども、そういうふうに思いました。

ですから、これもどういうふうにするかということとよくわかりませんが、

それはいろいろ下から水を湛えてくるような方法がいいのか、遊水地としてしていただくのがいいのか、まずは上流のほうを堤防でかさ上げしてもらいたいなと思います。

私たちの村は多くの村民がダムを推進してきました。昭和52年から何年かこの川辺川ダムが中止になるまで推進してきました。それはなぜかといいますと、この高原揚水機場35ヘクタール、それと飛行場用水路6キロぐらいの、昭和初めにできた飛行場用水路の水源転換をダムによって図るということで、楽しみにしてダムの推進をしてきたわけです。

ところが経緯はいろいろあろうかと思いますが、多目的ダムを廃止にしたということで、水源転換はなくなった。一番の犠牲となったのは農家だと思います。高原台地約500ヘクタールの畑は区画整理はおろか、いつか県の方が見に来られたときに、「こぎゃん畑はまだ熊本県にあつとかな」という話を聞いたことがあります。水路も農道も整備されておられません。今回の高原、あるいは棚葉瀬揚水機場あたりの水田や昭和のはじめから飛行場、水路としてやっております棚葉瀬、境田、新並木の115ヘクタールが、水田は約100年使っている水田でございます。また、柳瀬西溝の60ヘクタールも圃場整備したばかりです。これも川辺川のダムができる関連事業で、区画整理もやる予定だったんです。もう廃止になる寸前になんとか区画整理までできて、水が潤沢に行くようになりました。しかし、用水路がこれはもう壊れてしまいました。

この水源転換地域であったこれらの水田を「ダム中止」と言われる。うちの村長が一番最初になんか言ったようでございますけれども、それから知事が発言されました。これらの整備計画をすべきじゃなかったかなと思うんです。水源転換でもなんでも農家が将来にわたってこの農地を子々孫々に残すように禍根を残さないような田畑を作っておくべきじゃなかったかなと。計画だけでも作っておくべきじゃなかったかなと私は思います。

今はもう高齢化が進んで、自分たちで水路の管理もできません。昔はみんなで寄り合って、排水路とか水路を掃除しておりましたけれども、もう集落に全部で6人ぐらいしか元気な人がおられません。ですから、それと今、棚葉瀬揚水機場は（聞き取れず）いくら、10アールあたりですね、電気料を払いながら水田を作ってるわけです。これを自然にできるならば、どんなに農家が助かるかわかりません。ダム議論の前にこれらの自然流下の、これらを自然流下でパイプラインなどを整備して、水源転換を高原台地、あるいはこの区画整理などを整備していたきたいと要望いたします。

以上で、私の言葉といたします。ありがとうございました。

【発言者②】

おはようございます。

十島地区の〇〇でございます。

今度の大水害のために農家さんが、もう本当に困っております。西村地区の上流で川辺川と球磨川と小纏川が合流しておりますので、あそこが一番水量が多くなる場所です。それで堤防をかさ上げしてもらいたいですけれども、くま川鉄道があるために、かさ上げできないとなっております。それで農家の人はもう本当に困っております。西村地区なんかも農家がほとんどですので、田んぼがもうグラウンドのようになっております。隣との境もなく、いつできるか、農家さんが米買って食わんといけないというような状態でございます。

それで本当に堤防を上げるか、それか川底を掘ってもらおうかせんともうどうしようもないので、なんとかそこのところをよろしく願います。以上です。

【発言者③】

お世話になります。

中央区の〇〇と申します。どうぞよろしく願います。

まずは相良村の7月豪雨のご支援をいただきまして、中央区の住民に代わりましてお礼を申し上げたいと思います。

ただ、まだまだ被災家屋や農地の復旧はこれからですので、引き続きご支援のほうをお願いいたします。私どもの中央区、今回の災害では150戸あるわけですが、そのうち床上、床下を含め、24戸、約20%になるわけですが、被害を受けているところです。

農地の地帯を含めると、地区の半数の方々に近い方が被害を受けているのではないかなと考えます。

せつかくのこういう機会ですので、住民の意見集約ができておりませんが、2点お願いしたいと思います。

まず今回の出水でどの地区でも大きな被害が出ているところですが、これまで県におきまして、河道掘削など取り組まれているというのは我々も理解しております。

ただ大きな出水がある度にこの川辺川の棚葉瀬地区の両岸、そして境田、前田地区でも川辺川が氾濫して、農地が遊水地化していたというところです。

その度に住民の皆さんは被害を被ってきたところなんですけど、今回の出水はこれまでに経験したことのない未曾有の浸水被害であったと、私の父は90歳になるわけですがけれども、今までにこの川辺川が氾濫した中でも、経験したことがないと言っております。このような出水がいつ発生するかというのは、わかりません。

まずは早急に治水対策をあらゆる手段とありますが、ダムや遊水地、堤防のか

さ上げ、それから河道掘削、もろもろのことも含めて、早急に対策を講じていた
だきたいと思います。

私たちは先人から引き継いできましたこの地区をこれからもしっかりと守り
後世に引き継いでいく責任があるというふうに考えております。

そのためには安心安全に暮らせる、そういう環境が必要だということです。や
むを得ず、今回の災害で地区を離れる方もいらっしゃると思います。そういう方も再び
帰ってこられるような地域づくりを県や村、そして私たち行政区も含めて取り
組んでいきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

次に、今回の災害で私自身が感じたことなんですが、このような災害は、いつ
どの規模でくるかわかりません。

まずは、自分の生命は自分で守るのが基本であると考えますが、当地区でも、
高齢化が進んでおり、住民の避難誘導や避難時の対応をいかに進めていくかとい
うことを考える機会でもあったかなと思っております。

役場のほうから台風等の場合、事前に避難するよう指示がありますがけれども、
今回の出水では、浸水直前まで避難しない方がいたと聞いております。消防団の
誘導でやっと避難したようですが、そういう中で死傷者がいなかったというこ
とはこの地区にとっては幸いでした。

そしてまた中央区におきましても自主防災組織を立ち上げていますが、今年
は一度行なっただけで、このような災害の場合に自分たちが何をすべきかとい
うのがわからないというのが実情です。

当地区を含めまして、私を含め、役員が2年交代でやるんですが、この自主防
災組織の役割もこの役員が務めております。13名の役員がおるわけですが
けれども、そのうちの6名が被災しているということで、今後の組織役員の人選のあ
り方や、それから避難所の要支援者、高齢者等の把握、それから住民防災意識の
向上の取り組みなど、当地区だけでは住民向上型の組織運営は難しいという具
合に考えております。

私が知らないだけかもしれませんが、県や村がまずは住民の防災意識
の理解とか、そういうのが高まるような講習会、それからマニュアルなどの作成
を行っていただきたいと、そういう具合に考えております。

多分4、5年経てば復旧してくると、今回の災害はだんだん風化してくるもの
と考えますので、今のうちにこのハード、それからソフト両面の対策をぜひ願
いしたいという具合に考えているところです。私のほうからは以上でございます。

【発言者④】

永江区の〇〇です。よろしく申し上げます。

私、50年前の災害のときには小学4年か5年だったと思うんですけども、そのときの水位よりも今回の水位はかなり低かったと思うんです。私の感じでは。それで民家のほうも床上浸水された方もいらっしゃいますし、高いところにみんな集めて、今、仮設住宅におられる方もいますし、あと解体を待つられる方もいるんですけども、そのとき私の小学校のときに感じた水量からしたら、今よりはよかった。よかったという言い方は変ですけど、少なかつたんじゃないかと思います。区長会の〇〇さんの意見とはちょっと反対の意見になるんですけども、私の個人の意見ということになるんですけども、要は知事が川辺川ダム建設は選択の一つといわれたときに、みんな川辺川ダムを作るとみんな思ったんです。作ったほうが、いろんなことでいいと思うんですけども、ただそのときに川辺川ダムの目的が全然はっきりしてないんです。一番最初の〇〇さんが言われたように、高原で水を引いて多目的にするのか、治水だけに対応したダムにするのかというような、ダムのあり方の新しいかたちを作ってもらえんかなと。

だから普通のダムだったら、ダムの壁を作って、川の水を止めてダムを作る。ダムをみんなそう思ってると思うんです。ではなく、ダムの壁を作って、平常どおり川の流れを流しといて、天気予報で大雨が降るといったら、川の流れを止めて流量調節するとそういうようなかたちだと、治水だけに特化したダムになると思うんです。

だから川辺川ダムといったら、住民も日本国民全員、多目的ダムだろうと思って。だからもし、いろんな検討されることで、川辺川ダムを作らないといかんといいことであれば、そういうダムの目的をピシッとみんなに知らせるような言い方をしてほしいと。あと川辺川ダムの名前を捨てて、なんか違う理由のための名前にするとか、なんかそういうイメージ作りが必要だと私は思っております。

それと私らが小さいときからの川の状況を見て、要は川底が、私らが一生懸命川で遊んでたときにすると、大体2メートルから3メートル高いんです。だから今の若い人たちは、今の状況しか見てないからわからないですけども、私の小さいときには、川辺川は右から左に対面に歩いて渡れるところは一箇所もなかったんです。自分の背丈より深いし、淵もあって流れは緩やかなところもあるし、瀬もあるしですね。だから、川底を掘るんだったら何mとかそういうのをしないで、2メートル下げますとか、3メートル下げますとか、そういう結論を出してほしいと思います。以上です。すみません。

【発言者⑤】

今回の豪雨で非常に私も床下まで経験したものですから。川辺川と自宅が50メートルしか離れていない。とにかく川底が、今回の豪雨でもものすごく上がっ

てきていると、とにかくもう、それについては堤防も低い。とにかく川辺川の掘削をとにかく早急にやってもらいたいということが本音であります。

それと堤防のかさ上げを是非とも早急をお願いしたいと思っております。以上です。

【発言者⑥】

〇〇です。お疲れ様です。

知事に対しては、農地の集積とか、いろんな地域の農村のあり方とか、いろんな先駆者でありまして、非常に私も感謝申し上げたい。農業に非常に理解のある知事でございます。

私は、今こうやってやっていますけれども、過程のなかで、今まで私はダムに振り回してこられた、苦渋の選択をしています、相良村で農業をやっているものです。

ダムの問題もからんで、相良に来て、いろんなことを勉強させていただいております。

現在のこと、時代の流れで、地球環境も変わりましたし、線状降水帯がいつ起きかわからない、発生が読めない時代になってきているわけですが、この地形から逃げるわけにはいかないわけです。地形を変えるわけにはいかないです。全部球磨村に集まるような地形になっております。そのあたりはやはり山林の崩壊が一つ、人工林を進めた、経済優先した関係で管理が行き届かない。

それとダムができるところの、その地点が全部一緒に暮らしているわけです。そのために（聞き取れず）が集まって、川底が非常に、毎年でも起きて、ちょっとした雨で水害になるような地形に相良村はなっております。特にこの川辺川に沿っての農業の地帯が、水田とか田畑がほとんど再生不可能になるんじゃないかということで、非常に、狭い農地ですけども、これを大切に、今までやってきたわけです。

また一地域においては、この水害によって、間接的に被害を受けている地域もあるわけです。だから担い手不足で農地の集積など相良村もやらなきゃいかんけど、なかなかそこまで届かない。ということで、兼業農家で生き延びていくにはどうしようかということで今、方向性を今後、していきたいということで。非常にさっきもおっしゃいましたけれども、川底がかなり上がってきてます。だから今、現在はハード面もソフト面もそうですが、とりあえず生活が安定するためにはまず早くできるところから、まず川底から掘削してそれを早く取り除くのが相良村のためになるんじゃないかと私は思っています。

ダムはダムでもいいでしょう。普通ダムというのは、水を貯めると思ってるわけです。しかしはっきり申し上げて、生命財産を守るためのダムであるというこ

とで穴あきで検討してもいいんじゃないかと。

それと同時に優先順位もありますから、やはり生活の基盤をはっきり早く作っていただきたいと、でないと、現在高速があるからいいんですけれども、完璧に陸の孤島です。何年かかるかわかりませんが、本来の姿になりますように、やはり経済をどうしても優先しますからね。

やはり、担い手をどうやって見つけていくかということで、理解されておりますけれども、やはり農地を集積して守っていくためには、今現在我々の役割ですから、まずできるところから川底の掘削から、そして、生活基盤を早く作っていただきたいとそう思っておりますのでよろしくお願いします。

【発言者⑦】

認定農業者の〇〇と言います。よろしくお願いします。

私は農業者としてメインは葉たばこの耕作をしておりました。お手元の資料の4ページの右下ですがメインの場所ですけれども、洪水の度に直近でも3年前、4年前、その前の8年前ぐらいに洪水で浸水して、葉たばこのほうが全滅しているような状況でした。なので、資料の説明の中で川辺川ダムの方法が一番いいというような検証をされたとは思いますが。そのなかでプラスα川幅だったり、拡幅だとか、川底を掘削、ここまでセットで考えていただければとは思いますが。

洪水の度に水が上がって、地域を守ってきたつもりだったんですけれども、仕事場が結局なくなってしまってきましたので、そこを含めて考えていただければと思っております。

最初のほうでお話がありました飛行場用水路関係だとか棚葉瀬のポンプ用水関係、今回破損だったり浸水によって損傷しましたので、田んぼなどの水がいかなくなるような状況もありましたので、そういったダム関係も含めて、そちらのほうに水がいくような対策のほうをとっていただければと思っております。農業者を代表しましてお願いします。ありがとうございました。

【発言者⑧】

十島地区営農生産組合の〇〇と申します。よろしくお願いいたします。

組合が24名という小さい組合ですが、水稻、麦、蕎麦、小麦などを作っておりますが、今度の豪雨によりまして、水稻の180アールは被害に遭いまして、今後これが長引くようだとどうなるんだろうかと思っております。一日も早い復旧作業をお願いします。よろしくお願いします。

【発言者⑨】

私は川辺川の水路で鮎の養殖をしています。〇〇と申します。

私も今回の川辺川の氾濫により、養殖池が水没して約20万匹の鮎が流出してしまいました。

まず申し上げたいことは、柳瀬地区の川辺川の堆積土砂を適正に除去していたら私の養殖池も近隣の農地も被害は軽減できていたはずですが。

被災された農家の方からも同じ見解を聞いております。堆積土砂の除去についてはこれまでも何度も村や村議会及び住民から要望してきましたが、僅かな量の除去しか行われませんでした。現在もかなりの量の土砂が堆積していて、このままでは今回の豪雨ほどではない増水でも氾濫してしまう状態です。早急に除去をお願いします。

治水方法ですけれども、ダムに対しては、私は反対です。ゲート付きのダムでそんな危険なダムがあるだけで、ダムの下流に暮らす私たちにとって、とても不安が大きいものです。流水式ダムについては、環境に優しいと言われていますが、私は環境に優しいとは思いません。流水式ダムは増水時に一旦貯水したダム湖内に溜まった土砂により、長期間にわたって濁りを発生させます。このことが実際に川辺川では、平成17年から18年にわたって起きています。川辺川には事実上の流水式ダムが2つあります。八代市泉町にある朴木砂防ダムと、樅木砂防ダム、どちらも高さ約30メートルの巨大な砂防ダムです。砂防ダムの下部に穴が開いていて、普段はその穴から水が流れています。砂防ダムとなっておりますが、事実上の流水式ダムです。

平成17年、秋の台風14号による豪雨によって、大量の土砂が砂防ダムの上流に堆積して、その土砂が川の流れによって浸食されて濁りを発生させました。台風から半年ほど経った平成18年3月になっても濁りが続き、相良村村議会は濁りの長期化に対応を求めるために、国土交通省と当時の潮谷義子熊本県知事に対して川辺川水系の堤防改修および水質保全に関する意見書を提出しました。高さ30メートルの流水式ダムでも大きな影響があるのに巨大な流水式ダムだったらとても大きな影響が発生するのは明らかでしょう。

濁りの長期化は鮎の生育に大きな影響を与えます。日本一と言われる鮎がなくなってしまうたらどうなるのでしょうか。川漁師の生計が立たなくなるばかりではなく、水質日本一の清流と川辺川、球磨川の天然鮎という唯一無二の資源が大きな魅力であった観光地人吉の魅力にも大きな影響を与えてしまい、人吉球磨の復旧の足を引っ張ることになるどころか、観光地としての復旧を捨て去ることになると思います。

蒲島知事が2008年におっしゃった川辺川は守るべき宝、この言葉を聞いたときに感動のあまり、身震いしたことを忘れません。

守るべき宝は今回の豪雨でも守るべき宝に変わりはありません。取り返しのつかない危機になるのはぜひとも避けていただきたいと思います。

水産業に関わるものの代表としてよろしく願いいたします。以上です。

【発言者⑩】

消防団の〇〇といいます。よろしく願いします。7月の豪雨から3か月になろうとしています。私の体験から話します。7月の豪雨の時には夜中強い雨が降り続き気掛かりで朝になりました。

朝5時ごろ消防主任のほうから連絡があり、川辺川が増水してるので役場に来てくれという連絡を受け、すぐに家を出たところ、家から150メートルぐらい行ったところの小さい谷から相当な雨水が出て、横断歩道をはけきらずに道路にも水が流れていました。

一旦止まり、水をどうにか横に流すことを考えて、石などで止めようとしてみたけれども、無理でございました。

これは今までにないことでヤバイと思いながら、また先に行ったら次のところの谷も土石が流れていて、ここは通れないと思い、上流のヤマワキ谷のほうに行ったらまた橋の上を土砂が流れ、道路まで流れ込んでいました。これはもう大変なことになっていると思い、家族や地区の人たちに早く避難しろと呼び掛け、少しでも安全な場所に移動しました。

そのあと生活道路が崩れてしまい、電話や消防無線も不通になりました。そのあと徒歩で国道まで行こうとしましたけれども、途中の谷などで渡れる状態ではありませんでした。

副団長や役場に連絡が取れない状況のなか、いろんな手段で連絡が取れるようになり、上流のほうで相当な増水があるので下流のほうは大変なことになっていると思い、夕方行きましたら、想像もつかないぐらいに水が増えてどうしようもない気持ちでありました。

後日、村内を巡視したところ、川辺川近くは家や農地、道路など相当な被害を受けていました。

消防団としては村内の20名の方々を安全な場所や避難場所に避難でき、人的災害がなかったことが一番だと思っております。

今回の豪雨は50年に一度とも言われていますけれども、またすぐに来るかもしれません。

少しでも豪雨から被害を守るためにも大小問わず砂防ダム、堰堤また川辺川にはダムの必要性を考えます。

今回の豪雨で山間部で砂防ダムのある下流の人家被害がなかったことは、砂防のおかげだと思っております。これから先、何十年またこれから生まれる子どもたちのためにも、豪雨が起きた時に少しでも安心安全にいられるように、今の人たちでできれば子どもたちの意見を聞きながら、今後の対策をしていかなければ

ればならないと思います。

それと増水するところは決まって増水していますので、その場所のところを早く改修してもらいたいと思います。

最後になりますけれども生活に必要な農地の改修や生活道路を一日も早く修復できたらと思っております。終わります。

【発言者⑪】

相良村消防団〇〇と申します。よろしく申し上げます。

今回の豪雨で相良村から一人も死者が出なかったことは大変よかったなと思っております。それと後日逃げ遅れた方が数名おられましたけれども、消防団のほうでなんとかできまして大変よかったなと思っております。

先ほどから出ておりますように、やはり川の土砂の撤去はこれが優先かなと私は思っております。それから農家の収入源となります水田の復旧を急いでいただければと思っております。よろしく願いいたします。

【発言者⑫】

3分団の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

今回の災害で直接避難活動に加わったんですけれども、今回行政の方と協力し避難活動ができたおかげで一人も人的被害がなかったのは幸いです。ただし、やはり感じているのは今回の水害、河川の水位の上昇が異常に早く、少しでも避難活動が遅れば人的被害も出たのではというのが正直なところではあります。

消防団としてはこういった活動をするには、スピードが命だと思っております。いかに早く情報を収集し、活動する。そのために自分たちがやってるのが、上流側にある分団と連絡をとりあい、もしくは川に設置したライブカメラというのを確認し、いち早く確認する。でもやはり情報が足りません。河川のカメラ等の増設、もしくは現状がわかるように設置場所を考えて検討してもらおう。もしくは地域住民もいち早く自分で避難活動に来られるように、今回の水害があったところには、警告灯なり、サイレンなり地域住民に対して警告を周知してもらおうというのをしてもらえないかという話がありました。

そういうのを踏まえて、村と県が協力して災害が起きにくい村づくり、もしくは災害に強い村づくりを進めてもらったらいいかと思っております。以上です。

【発言者⑬】

おはようございます。4分団の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

災害当時ですけれども、朝の早い段階から相良大橋から上流、国道がもう水に浸かって、通行止めになっていました。消防団としては、川の水位が上がって川

の近くの家に居る人に避難を呼びかけたり、高齢者、一人暮らしのところに廻って呼びかけ、避難していただきました。逃げ遅れた方はおられず安心しておりました。

本当に水の上りが早くて永江地区がひどかったんですけれども、川のように水が流れていて、松馬場、南小のほうも、家の被害は少なかったんですけれども、田畑まで水がきていた状況です。

永江地区に関しては本当、水が来たときは毎回、住民の方も心配しておられると思います。

松馬場には高齢者施設もございます。そのときは早めに2階に避難してもらって、水も玄関前までしかこなかったの、浸水することはなかったんですけれども、これから先、もう少し長く雨が降っていたり、これ以上雨が降った場合は浸水したかもしれないなと思ってます。

災害の後ですけれども、今回、コロナの影響もあってボランティアの方も少なくて、家の泥出しとか、人が足りなくて復旧が長く延びてるのかなという気はします。

今後の治水については、せっかくきれいな川辺川の自然をできるだけ残していけたらなと私は思っております。以上です。

【発言者⑭】

皆様おはようございます。相良村消防団7分団の〇〇です。分団長が事情により出られませんので代わりに意見を出させていただきたいと思います。

私は当日の活動としては、夜の9時、10時ぐらいからずっと川の状況を見ながら、村民の方の避難等を呼びかけていました。異変に気付いたのは11時過ぎぐらいでした。とんでもない増水、夜なので手元に持っているライトを頼りに川辺川の増水状況を直接目で見て判断していたんですけれども、とにかく水位の上がり方が尋常じゃないと。先ほど〇〇さんが言われましたが、スマートフォンを使って川辺川の水位を見るものがあるんですけれども、それを見ながら1時間にどれくらい上がったとか、30分、10分単位で見るといったので確認していたところ、それが計測不能になって情報が入らないと、どうするかということになって、直接暗い中、足元も悪い中、自分の目で見て判断するしかない。

朝の4時過ぎでしたか、水が上がって30分もしないうちに、国道445号線があるんですが、そこが冠水したと。これが何年か前にもあったんですけれども、1度や2度じゃないんです。とみお商店があるんですが、そこから私たちの消防団の詰め所が約500メートルぐらい。国道が少し低くなって増水するたびにそこが冠水すると。前回のときは1メートルいかないぐらいの冠水だったんで

すけれども、今回は2メートルを超えて冠水してます。

脇にある住宅も屋根下まで冠水し全損という状態になっているところです。国道445号線が私たちの生命線でもあるので、その区間だけでもかさ上げしてもらい、どうかしてほしいというのは消防団としての意見でもあるし、そこが通れないと何もできないと、反対の対岸側に村道があるんですが、そこはちょっとした雨で崩れる、通れないという状況なってますので、できれば445号線を早くどうかしてもらいたい。

今回の豪雨で2メートル上がったんですけれども、その1週間後に1メートル上がりました。立て続けに道路が流木等で封鎖されると、しかも3日も通れないという状況にもなっております。

そういうところを踏まえたうえで、早くそういうところを解消してもらいたいなと私は思っております。

あと消防活動としては、高齢者や体の不自由な人を優先的に避難所へ避難させる行動を取ってるんですが、やはり車とかでの避難になります。実際のところ消防の積載車では高齢者とかそういう人たちを助けることはなかなか難しいし、時間もかかると、ましてや大雨の中にそういう人たちを運搬するのは難しいので、やはり消防のほうにも介護車両といいますか、そういう人でも安全に避難所へ避難させ、連れて行けるような車両とかがあれば、違うんじゃないかなと私は思っております。

そういうところも踏まえて今後、県や村のほうで検討していただけたらと思います。以上です。

【発言者⑮】

PTAの〇〇です。今日はありがとうございました。

保護者代表として言わしてもらおうとしたら、子どもたちのために清流を残してほしいということに限ると思います。

今回は豪雨が川辺川で甚大な被災を起こしました。川辺川でやはり甚大に被災してるんです。それを復旧しない限り、やはり第2、第3の水害を起こしてしまうんじゃないかと感じています。

特にうちの子どもたちは、川辺川で泳ぐんですけれども、今回は8月の終わりに泳ぎに行ったんですが、全く土砂が溜まっていて、昔のようには泳げません。このままだと子どもたちが将来大人になったときに川辺川はどうなるんだろうかという不安しかないです。

川辺川が被災している状況の中で、まずそれをどうにかしないと、ダムという話よりもまずそこを先にしてもらわなきゃいけないんじゃないかなと思っております。よろしく願います。以上です。

【発言者⑯】

会長をしております〇〇といいます。よろしくお願ひいたします。

私はまず個人での思いといいますか、考えを述べさせていただきたいと思ひます。

7月4日は大水害が起きた日なんですけれども、私、民生委員をしておりますので、弱い立場のお年寄りの方に7月3日に電話いたしまして、こんな雨だから避難してくださいと電話を入れましたところ、孫が迎えに来るからと言われまして安心したところでした。そして7月3日の夜から7月4日の朝方までものすごい雨だったんです。夜も眠れないくらい。2階に寝ておりますけれども、だから心配になりまして5時に、朝起きてすぐに、私は高台ですので全く安心なんですけれども、下に降りていきました。そして5時の時点ではまだいわゆる（聞き取れず）にといいますか、少しは水が一戸の家に上がって来ておりました。まだ安心だなと思ひて、そのあと40分ぐらいして、降りていきましたら、とんでもない雨なんです。うちの部落は3戸の住宅が被災されましたけれども、2戸の住宅については川辺川のすぐそばにありますから、あの水だったら被害を受けるといふのは想定できたんですが、あと一户の家は川から140メートルぐらい離れておりました、少し高台にあるんです。ところが今回は、その住宅から50メートルぐらい離れたところに橋が架かっております、その橋を越水するんです。越えて流れます。そして同じレベルの橋の上側にある堤防を越えて水が流れておりました。そして被災されたんです。

あの光景を見て私も70年ぐらい生きてるんですけれども、ずっと川辺川を見ておって、こんなところまで水がくるのかなと、非常に驚きました。

そのあと水が引いた後に家に帰りまして、テレビの映像を見ておりましたら、ちょうど私が高校3年です。昭和40年の7月でした。55年前、全く同じような被害を人吉市の球磨川沿いの集落は受けておられたんです。

わあと思ひて、そして新聞読んでますと昭和55年前の水かさと言ひますか、あれよりも2メートルぐらい今回は高いと言われております。

だからあんな被害でるのは当たり前だなと思ひたわけです。

私の部落の水かさを見ますと、あれ以上は多分今後は来ないんじゃないか、あるいはMAXじゃないかなと思ひたわけです。できるならばあの状態を見られて、やはり住宅を安全なところに移転されたほうがいいのかという考えを持ちました。

それから先ほどから出ておりますけれども、川底が非常にやはり高くなってるんです、私の小さい頃から見たら。そして災いしたのは、1年余りですか、私の対岸の境田橋というのがあるんですが、あそこに堆積している土砂を取られ

たんです。取られた位置、普段流れている水のところなんです。結局、あれが今度は直通みたいな感じで境田あたりを流れてきたんです。そしてかなりの被害を出したんです。

だから結局、人間がああいうことをやったために災いを起こしたという、あれは現象じゃないかなと思いました。

そして、人間が作った橋といいますか、橋はどうしても道路がずっと上がりながら橋に行くんです、その道路が堤防みたいな感じになるんです。

だからいわば小規模な口が開いた、穴が空いた小規模ダムみたいになってしまって、それが上がってきて、今回は先ほど〇〇さんが言われましたけれども、28戸ぐらい、まさかここまでこないだろうという住宅が被災されました。

だから人間が作った人工構造物です、非常に便利の良いように見えるけれども、逆に自然現象がそれを利用して自分たちが被害を受ける状況が生まれてきているわけです。〇〇さんが言われてますように、水が流れている川底ですね、これを掘削しないことには、ちょっと水が出たらずっと水が上がってくる状況が今現在続いております。

それからもうひとつ申し上げたいのは、この水害によって、川辺川ダムがまたクローズアップされてきました。

今、五木村のことを考えますと、五木村はあれに翻弄されてやっと村の再建に一生懸命に頑張っておられるわけです。

もしダムができたならば、その一生懸命頑張ろうという芽を摘むことになります。

それから二つ目は、この清流川辺川と言われておりますけれども、資料を見てもみますと球磨川の水の量と川辺川の水の量は6対4の比ぐらいといわれています。

6が球磨川から流れてくる水。4が川辺川から流れてくる水。清流川辺川の水で、濁った球磨川の水を全て下流に流れていくわけです。薄められて。それによって先ほどから申し上げていますように、大きな鮎とかそれから夏場になりますと周りの川の自然環境が豊かですから、それから水もきれい。そういうことで川下りとかあるいはラフティング、そういうのが非常に盛んなんです。

ここ川辺川もあれ一つでは、人吉・球磨の魅力というのはほとんどないと思うんです。

だからダムが出来ることによって、私はすんなり言って「ない」と思いますけれども、これから生きる子どもたちとか孫たちに禍根を残すんじゃないかなと思います。

もう一つは清流川辺川ミネラルウォーターといいますか、それが八代海に注いでプランクトンがたくさん発生をして豊かな八代海になってるわけです。

これもどんどんと変わっていくのではないかという危惧を持っております。

できるならばダムは作らないで、別の、というなら先ほど申しましたように、危ないところから安全なところに住宅を移転して、今、車社会ですから、私たちの55年前は自転車か、歩くか、あるいは乗り合いバス、そういう時代でした。

今は車社会ですから農地には車で行けるんです。だから頑丈な堤防を作ったとしても、川辺川流域というのは非常に山が両方から迫っていて、平地が少ない。だからあんまり意味をなさない。

できるならばある程度の高さの強固な堤防を作って、それ以上の出水時の場合は外に水を誘導するといいますか、そういう方策を考えたら十分じゃないかなと思っているところです。以上です。

【発言者⑰】

〇〇をしております〇〇です。今回の災害は、今まで見たことないというか、最初57年ぐらいに水害があったんです。その前に何回か田んぼのほうに来てたんですけれども、うちは球磨川沿いにあるんです。その球磨川を超えてとは知ってたんですけれども、57年にあった後に堤防をちょっと高くしてもらって、それから水害はないねという話で今まできてたんです。けれども、今年はそれこそ信じられないくらいに、球磨川よりちょっと高めに家があるものですから、明け方から水量を見てたんですけれども、考えられないくらいの速さで田んぼのほうに水が押しよせてきて、もう6時前から一人暮らしのところに全部電話をして避難してくださいとか、それは消防団とか区長さんが率先してされていたので、安心していたんですけれども、もう本当今までにない、信じられないくらいの水量が家の前まで来てたんです。でもこんなに上がることはないよねという話をずっとしてたんですけれども、うちの近く、低いところは全部床上浸水になって、西村地区はもう床上とか全壊とか、今まで見ないくらいの、信じられないくらいの被災でした。

でも堤防があればとも思うんですけれども、列車とかもあるし、どうなるのかなとは思ってますけれども、田んぼが全部被災してしまったので、できればもうそっちのほうをしてほしいなとは思ってます。

【発言者⑱】

上園・永江を担当する民生委員の〇〇です。よろしく申し上げます。私は、先ほど堤防をかさ上げ、かさ上げと言われますけど、今年、錦町のほうで球磨川が流れてて橋があって堤防があって、堤防より下のところが、それこそボートで救出に行かなくちゃいけないほどの災害だったんです。

私も人吉・球磨村を見ながら、目の前が山の老人ホーム等もありますね。だか

ら堤防をかさ上げ、かさ上げといわれても山から流れてくる水のことも考えてほしいなと思います。

それと私は上園というところで、古いずい道の橋があるんです。橋を登ってちょっと急坂になっていて、その道路上に田んぼがあるんです。

最初、その道路が出来たときには用水路は全然なかったんです。それで水害があったときに子どもたちを迎えに行こうと思ったら永江も通れない。高原のフルーティロードに出ることもできなかったんです。上から田んぼの横と農免道路、フルーティロードの間に川のように水が流れてきて、今では用水路作ってあるんですけれども、もう何メートル、これの倍ぐらいの用水路なわけですけれども、そして橋側の水、あそこには、私たちの田んぼのところは広いのに下に落ちる溝は小さいもので、今度の災害で橋が渡れなかったんです。

だからどういう設計に作るのかなと思っている。唯一の交通手段なのに。もうあさぎり町とかから来る人たちも、その人たちはもう、うろうろしながら、そういうことをどうして設計の中でできないものかなと思って。田んぼから水が出る、橋のたもとの出口もたんまり高くなって噴水になって、その水が今度は大橋を抜けて永江のほうに流れていっているんです。坂道になってる。だからそういうことも考えて設計してほしいと思います。

それと、先ほど言われた、私たちはずい道といっているんですけれども、何年前までは、ずい道が高くなってるところとなっていないところがあるんです。その下が通っていないところが崩壊したこともあるので、やはりそういうことも何十年というずい道の修理とかも考えてほしいなと思います。

また、今回はポンプが故障して、何億というお金がいる。なんですけれども、今から先、上に作れないなと思うんです、それだけのお金を出してしないといけないし。でも、ダムは作ってほしくないと思います。先ほど皆さん言われている、清流川辺川を孫たちも、毎年夏になると、川で水遊びしたりするし、よそからもキャンプカーが見えるので、そこはお願いしたいと思います。すみません。ちんぷんかんぷんで。

【発言者⑱】

私、松葉仮設団地の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

昨日でちょうど入居しまして2か月になりました。昨日は団地内の皆さんの意見を聞いて書きました。皆さんの意見として、非常に立派な仮設住宅にお世話になり、本当に安心して生活して、何と云って感謝を申し上げていいかわからないくらい、立派で安心しておりますということで、ありがたい、ありがたいというような話で皆さんも生活をされております。

私自身もそう思っておりますが、これから2年間仮設住宅を生活するわけで

すけれども、その2年後のことを皆さんはやはり不安を感じて生活をしており
ます。

私自身も、2年後には新築をしたいというような話で、もう一度、考えました。
安心して生活ができる場所を農地として買いましたが、今のお話では、農
地は3年間は宅地に変容できないというようなことで、3年後に新築しなけれ
ばいけないのかなという今の思いが、なんとか宅地の変更に検討していただ
けますならばという思いであります。その点よろしくお願いを申し上げます。本
日はありがとうございました。

【発言者⑳】

終盤に近くなりましたので簡単に申し上げます。

3点申し上げます。

第1点は文化財の保護委員をしておりますので、文化財の今度の豪雨につ
いての状況について簡単に申し上げます。保存している文化財については被害は
ありませんでした。ただ、指定をされていない未指定の文化財、今相当な被害が
出ております。全壊とか、あるいは床上・床下浸水とか、そういう被害が多数出
ております。相良村700年、民俗学の宝庫といわれておりますこの球磨・人吉、
たくさんの貴重な文化財があるわけで、今度の豪雨で、未指定の文化財が被害に
あったということで、大変心を痛めております。

それから何と言いましても、国指定、国の登録有形文化財でありますくま川鉄
道、これが甚大な災害を被りました。第4橋梁の流失、それから橋脚の倒壊。く
ま川鉄道というのは言うまでもなく沿線住民の大切な足、なかでも学生、高校生
の大変な貴重な足なんです。国庫の補助を受けて、災害復旧をしようかというふ
うに決まっているというふうに聞いておりますので、一日も早い復旧を願って
おります。

それから2点目ですけれども、私自身が今度の7月4日の豪雨の被害にあ
いました。被害といいますか住宅が床上浸水になりました。ちょうど資料の15ペ
ージをご覧くださいと思いますけれども、15ページの保育園の写真があ
ります。これは保育園です。私は保育園の〇〇をしておりますけれども、保育園
の前に自宅があるので、保育園と自宅が1メートル近く床上浸水、大規模半壊と
いう判定も出ました。保育園につきましては、7月4日の早朝でしたので、園児
の子どもさんが登園前だったので被害なかったんですけれども、これがもしそ
うでない時間帯であったならばと思うと、非常にこれから先どうしたらいいん
だろうか、特に隣の村の高齢者福祉施設の例もありますので、人の命を預かる福
祉施設の当事者としては本当にこれから先のことを考えております。

ダム建設の当時の論議はともかくとして、この川辺川のすぐそばに住んでる

私としては、切実に思うのは皆さんがおっしゃいました、河道の掘削とか、なかでも堤防が浅いと。どうしてもお願いしたいんです。今の堤防の高さは、川辺川ダムができたという前提で高さが設計されているというふうに聞いております。

はるかに今度は堤防を超えて越水ですか。もうヒヤヒヤしております。できればかさ上げをお願いできないかなと。前までは要望はしてるんですけども、なかなか要望は届きませんでした。

それから3点目ですけども、私は永江というところに住んでおります。資料の15ページの写真にあります。永江というのは、70世帯くらいありますけれども、10世帯ほど永江を離れようかと、あるいはもう離れているという方が、世帯があります。70世帯のうち10世帯がもう、ここには住めないと、このままでは住めないと。ダムとかいろいろ言われているけれども、もう当面どうしたらいいんだろうか、また来年の梅雨どき、はたしてここに住むことができるだろうか、ということで、今言いましたように10世帯ほどがもう離れる、あるいは離れることを真剣に考えているという状況です。

本当に安心して暮らせるような永江であってほしいなと思います。私どもずっと、父祖伝来の地に住んでおりますので、私は川の側に住んどるからいけないとか、移ればいいじゃないかというふうにおっしゃるかもしれませんが、なかなかそういうわけにもいきませんし、また、高台への移転というのも簡単にできるものじゃないわけです。そういうふうに思っております。よろしく申し上げます。

【発言者⑳】

皆さんご存知のとおり、川辺川は水質日本一の川です。私はその清流で生計を立てている川漁師の〇〇と申します。

元々私は、川漁師をしていたというわけではありません。25年前に仕事の転勤で川辺川に出会い、その圧倒的な素晴らしさに魅了され、2009年に川辺川を守りたい、その素晴らしい川とともに生きていきたい、その思いだけでそれまで勤めてきた安定した仕事を辞め、プロの川漁師となったのです。

今回幸い自宅の被害はありませんでしたが、川辺川の氾濫により、漁に使う船は流され、網などの道具の被害を受け、しばらく漁ができなくなってしまいました。

そういう状況もあり、災害発生から約2か月間は毎日各地の被災したところで、災害復旧作業などにあたり、泥だらけの日々を送っておりました。現在は被災地や川の状態も少し落ち着き、また全国各地の川辺川の魚の取引先の方たち、漁協の応援等もあり、船や道具を再度手配して、漁を再開しています。

今のところは漁は芳しくありませんが、清流が清流であり続ける限り、再生す

ると確信しています。

プロの川漁師になって12年、経済的にも軌道に乗ってきたところで、コロナと今回の豪雨災害により大変な苦境に立たされることとなりましたが、今はあのとき日本の宝である川辺川の漁師になったという判断は間違いではなかったと思っています。また少しずつ再起を図ろうと頑張っているところです。

川を通して仲間となった、同じく被災し、厳しい状況にある川漁師さんたちも皆同じ思いでいます。

そんな何よりも川とともに生きてきた者の一人の私だからこそ、災害後でも川に幾度となく足を運んで思うことがあります。

今回の豪雨、元川辺川ダム建設予定地の上流域は、被害があったものの甚大な被害が出た下流域に比べて、全体的に雨量が少なく、川の水位もそれほど高くなかったのかなということです。

それが一番わかる証拠は、川辺川下流のつり橋を含めて、球磨川本流の大きく頑丈な橋がいくつも崩壊・流出しているにもかかわらず、ダムができるはずだった放置された橋とダム予定地の下流にある古いつり橋が、2つとも無傷で残っているという事実です。

私はこの周辺でもよく釣りをするのですぐにわかりました。「ああやはり、仮に川辺ダムが出来ていても、今回の豪雨災害はほとんど被害を防げなかったんだな」と。

だからこそぜひ知事には、真偽の疑わしい一方的な誰かに都合のいいデータや甘言に踊らされ、後々に深い悲しみと憎しみ、後悔を残さないためにも、実際に現場に自分で足を運んでいただき、状況を広く見て、何が真実なのかを見極めていただきたいと思います。

最後に人吉地域のみならず、後の人にも、世界にも胸を張って誇れるような清流川辺川がなくなるとき、私たち川漁師は皆死ぬときです。そして人吉・球磨が死ぬときです。ということをお伝えして、私の意見を終わりたいと思います。ありがとうございました。

【発言者②】

今日はありがとうございます。

私は〇〇をしております。

今、年齢36歳でありますけれども、豪雨後3週間の休業を余儀なくされまして、コロナ、水害がありながら、何とか事業を存続していける道を考えながら今やっています。

川辺川は、何度も繰り返しているように、この唯一無二の相良村の資源がありますけれども、私は今現在この川辺川を活かした、観光につながるような事業を

されている方はほとんどいないかなと思ってまして、私も〇〇でありながらも、川辺川の魅力というのを活かせるような、新たな取り組みとかそういうのをやっていきたいなと思っています。

今、ダムが出来る、出来ないにしても、この川辺川というのは熊本、私もずっと事業をしながら、川辺川、川辺川とっているんですけども、なかなか熊本県内の方も知らない方が多いというような状況で、もっと魅力を伝えたいと思うんですけども、相良村に限らず、人吉・球磨の全域で、今若手が一体になって、新しい人吉・球磨の町づくりとか、観光について毎週のように話し合っている会がありますので、すでにご存じかとは思いますが、そういう機会を、また、意見を聞いていただくように県知事とか県の方に、そういう機会をいただけるように、ぜひお願いをしたいと思います。

私たち、今ここで子育てをして、そのあと子どもたちも人吉・球磨で生きていけるような地域に残していきたいと思っていますので、そういった意見、若手の意見をいろいろ反映していただくようにと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

(以 上)